

雑感

次に来る社会と子どもの教育

昨年度末、箕面こどもの森学園の中学部からはじめての卒業生が出ました。心を許し合える仲間とともにこの学園で安心して少年時代を過ごした彼らは、本当にキラキラとした透明感のある素敵な青年に育ってくれています。

その立ち居振る舞いは構えずにリラックスしており、人に対してもありのままの自分でハートを開き、情動に接地している様子が伺えます。このような子どもたちは、きっとどんなに厳しい状況下でも争いは選択せず、粘り強く平和の担い手となる道を歩んでいってくれるに違いありません。

ところで、今の時代、コンピューターやロボットの加速度的な進化、人工知能（AI）やブロックチェーン技術の普及など、社会の仕組みに革命が起こる兆しがここかしこに出始めており、今の社会が大きな変化なく継続することを前提に未来を描くのは、逆の意味でリスクが大きいようにも考えられます。

「現在人間が携わっている多くの仕事が近い

将来にはなくなっている」という予測はもはや冗談ではなく、真剣に受け止める価値があるように思われます。

そして、未知の時代を創造的に切り拓く知恵と経験を身につけていくためには、日本の多くの子どもたちが長きに亘り続けられた義務教育を選択肢なく無自覚に受けている現状について、議論の余地は大きいかもしれません。本当は、私たち大人は予測不能な新しい時代を生きる「ミライ人」を育てる自覚を持って子どもたちへのコントロールを手放し、彼らが喜びのモチベーションで自発的に伸びようとしていく支援をすることが、調和的で成熟した社会を創る近道のように感じます。

そのためには、まずは私たち自身が視野を広げて謙虚に学び、常識を疑いゼロベースで問いかけ、失敗を恐れずトライ・アンド・エラーで模索していく姿勢でいることを求められているのではないのでしょうか。このところ、よくそんな思いが表れてきます。(川越)

こんな学校に出会いたかった！！

♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪

2018年度の生徒募集をしています！
自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか？

募集人数

小 学 部：1年生1名

：（他の学年は定員に達しキャンセル待ち受付中）

中 学 部：1年生3名

見 学 日：月・水・金（事前申し込み必要）

体験入学：学校見学の後、所定日数の学習体験をしていただきます。

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。

※ご見学、ご入学をご希望の方は、下段の各種お問合せ先までご連絡ください。

もりもりサポーターになって “4つの森”の活動にご参加を！

NPO法人の活動として、「こどもの森」「おとなの森」「こそだての森」「ミライの森」の4つの事業をおこなっています。

20代～70代までの人たちが、年齢や性別の枠を超えて、同じ夢を描くチームの一員として和気あいあいと活動できるのが、箕面こどもの森学園の醍醐味。

ぜひ、もりもりサポーター（賛助会員）になって、ご関心のあるところに参加していただければとてもうれしいです！
ご連絡お待ちしております！

＊こどもの森（学園運営）

インターン生

＊おとなの森（場づくり）

教育カフェマラソン実行委員

＊こそだての森

保育サポーター

＊ミライの森

ロハス実行委員

＊全体

事務スタッフ、ファンドレイザー、

イベントサポーター

各種お問い合わせ先：

TEL&FAX：072－735－7676

メール：info@kodomonono-mori.com

URL：http://kodomonono-mori.com

《編集後記》

15周年。手作りで始まった学園は、今の時代にはなくてはならない場所になっているのではと思います。

これからも子どもたちが、自分らしく自由な感性で、生きる力と持続可能な未来の世界を創って行けるよう、今後とも箕面こどもの森学園をよろしく願います。(日置)



みんなで創る

「卒業式と卒業を祝う会」

桜満開の3月16日に「卒業式」と「卒業を祝う会」が開かれました。今年は小学部6名と3年前に開設した中学部の初卒業生5名の合計11名を送り出しました。

式では校長や担当スタッフの愛のこもった送る言葉、個性豊かな小学部6名と中学部5名の卒業の言葉が、在校生やスタッフや保護者にジーンと伝わってきました。

式の後の卒業を祝う会では在校生が進行を引継ぎ、子どもたちのダンス、合唱、合奏、ビンゴゲーム、歌とスライドショー、スタッフの歌、そしてクッキーのプレゼント、最後に花吹雪と一緒に「卒業おめでとう!!」の垂れ幕が下りて終わりました。

どの出し物も卒業生に内緒で話し合いや練習を繰り返して準備されたものばかり。この学校らしさたっぷりの楽しい会になりました。新しい世界に、自分らしくチャレンジしながら、自分らしく進んで行ってください。みんなで応援しているよ。卒業おめでとう！（平嶋）



“学ぶと生きるをデザイン” したプロジェクト

こどもの森初めての中学3年生が、1年かけた長期プロジェクトにチャレンジし、年度末にそれを発表。春に「何に取り組むか」について各自が考え、それぞれで構想を練りながら、時にそれを他の人と共有しつつ進めてきました。

クラスメイトへのインタビューをもとにした中学部の仲間たちの未来予想の小説、

飛行機のプラモデルを忠実に再現した木工作品、木工と裁縫で作り上げた学校でみんなが使えるソファ、たくさんの描き損じが出た末にできてきた絵本、撮りためた写真を音楽付きでまとめた動画、それぞれのものできました。

やってみてその楽しさに改めて気付いたり、もっとやってみたいという気持ちが湧いてきたり、自分の好きなものの中でも取り組みやすいものとそうでないものがあることがわかったり、自分のやりたいことと人に求められることが重なるところを見つける大切さを学んだり… それぞれが得た学びがいきいきと表現された発表会になりました。(佐野)



テーマ学習『わたしの将来』

3学期のテーマ学習は「わたしの将来」。3学期の自分の姿を、今の自分を見つめながら、考えていく時間になりました。

低学年は、大きくなったらやってみたいことを絵に描いて、一人ひとり発表しました。自分の好きなことを探した好き好きマップも作りました。

高学年は、将来なってみたいこと、についてみたい職業など、自分はこんな性格だけど、これが好き、これが苦手ということを考えつつ、少し先のことから、遠い未来のことまでそれぞれの視点でまとめていきました。

中学部では、さらに自分を見つめていくことを深め、自分が惹かれる人の生き方を調べ、大切にしたいことを考え、そこから自分が将来どんな風に生きたいか、どんなことをしたいのかを発表しました。

将来や未来のことはどうなるかはわかりませんが、こどもたちの発表から、今の自

発行日：2018年 4月15日

発行者：認定NPO法人 箕面こどもの森学園

〒562-0032

大阪府箕面市小野原西 6-15-31

tel&fax 072-735-7676

e-mail info@kodomonono-mori.com

URL http://kodomonono-mori.com

ユネスコスクール

Member of

United Nations

Educational, Scientific and

Cultural Organization

Associated Schools

分自身のことを見つめ、問い続けることが大切なのかなと感じました。(藤丸)



入学と進級を祝う会

今年は、満開の“菜”の花が入学と進級を祝う会に彩どりをそえてくれました。小学部7名と中学部5名の新入生を含む総勢54名での新しい年度です。

まずは、校長から一人ひとりの木が森を作るという“こどもの森学園”の名前のこと、自分を大切にすること、学ぶと生きるをデザインすること、そして今年は15周年の記念の年であることの話がありました。次は、在校生から新入生へのコサージュのプレゼント。それを胸元につけてもらうと、笑顔がこぼれました。

それぞれの今年の抱負の発表では、「新しい人をサポートしたい」「好きなことを増やしたい」「けんかをしない」「長期プロジェクトをがんばりたい」「苦手なことにもチャレンジしたい」など、自分を真ん中にして語られました。

最後は、音楽Aの人たちによる歌のプレゼント。その歌に添えられた「こどもの森はやりたいことを自由にできる学校です。自分を大切に楽しんでください。」のコメントが印象的でした。みなさん、入学と進級おめでとうございます。(西川)



【小学部】

自由作文

スタバにいったこと

もも（5年）

2月7日に、モモとメロディと、北千里駅の近くのスタバに行きました。

私とモモは、ダークモカチップフラペチーノを飲んで、メロディはコーヒーフラペチーノみたいなのを飲んでいました。とても美味しかったです。

すると、店員さんがホワイトモカの小さいやつをもってきてくれました。うれしかったです。

メロディと私は、写真を撮って、モモは本を読んでいま

した。そして1時間くらいして帰りました。とても楽しかったです。また行きたいです！

ひみつきちをつくったこと

あまね（2年）

しょう月に、いながわにいて、そのときはいとこがついてきて、いながわについて、おじちゃんおばちゃんのいえについて、いながわのこうえんがあるから、そこであそんで、ひみつきちをつくって、まるでトトロのひみつちみたいだって、おくにはいるときれいなみずがあって、そこにきれいなおはながあったから、きれいだった。

プロジェクト紹介

ミサンガ

ゆうせい（4年）

どうして作ったのかというと、ゆきちゃんにさそわれたからです。

作り方のせつめいをします。

まず、みつあみを作ります。好きな長さにします。次にかざりをとおします。

さいごにかたむすびをします。

かんせいです。

けん

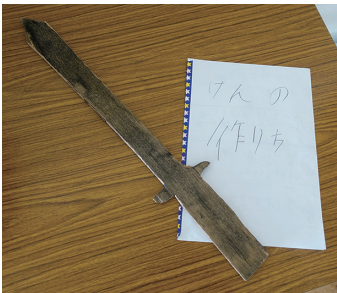
たつき（4年）

なぜ作ったかというと、ぶきが好きだからです。

まず、たて54.5センチ、横49センチの長方形をだします。そして、けんのかたちにします。くわしいことを書いた本も書きました。

気に入っているところは、うらおもての色がちがうところです。反省点は、もうちょっとけんのかたちにすることです。

つぎにやってみたいことは、やりです。なぜそれがやりたいかということ、ぶきが好きだからです。



【中学部】

共同プロジェクト

3年生の思い出の六甲山へ

中学部の共同プロジェクトは「クラス全体で共同してプロジェクトに取り組む」ということだけが決まっていますが、何に取り組むかは全員で話し合って決めます。

2学期に入り、新しい共同プロジェクトで何をするかを話し合いました。卒業する3年生から1年生の時に共同プロジェクトで行った六甲山にもう一度行きたいという声があり、その希望を叶える形で行先を六甲山にしました。行く時期を決めて、どれくらいお金が必要かも考えました。

2年前に行った時の記録を確認して、今ある中学部資金と照らし合わせ、足りない金額を計算。それをもとに目標を立ててどのようにしたら資金を集めることができるかを具体的に検討し、「NPO 法人箕面こどもの森学園の行事（新年会）でお菓子を販売する」「インターネットを通じて作品を販売する」「クラウドファンディングにチャレンジする」というアイデアを出して、チームに分かれて活動。

情報を集めてもなかなかアクションに移すことができない

かったものもありましたが、新年会での手作りお菓子はしっかり計画を立てて役割分担をし、協力して作り上げて十分な利益を上げることに成功しました。

それから旅行の計画内容について分担して準備にかかり、行き方や予算、食事の計画などをしおりにしてまとめ、当日を迎えました。当日は計画通りに神戸の王子動物園でゆったり過ごしてから六甲山の山小屋に行き、そこで協力して薪を割ったり料理をしったりして過ごしました。

事前の役割分担だけでなく、荷物を運びこむ時に廊下が狭かったら「バケツリレー方式で運ぼう！」と声が上がったり、「〇〇をしてくれる人？」と声をかける人がいれば「はい！」と爽やかな声が返ってきたり、自然と協力しながら旅を進めていきました。

最後は電車を乗り継いで有馬温泉を訪れ、温泉街でほっこりと過ごして帰りました。目標に向かって、まさに共同してプロジェクトに取り組んでいった日々でした。（佐野）

認定NPO法人箕面こどもの森学園の事業活動 1月～3月

箕面こどもの森学園は創立15周年を迎えます

1999年10月に任意団体の「大阪に新しい学校を創る会」が発足し、2003年5月に「特定非営利活動法人大阪に新しい学校を創る会」となりました。

今年度はNPO 法人になってから16年目、「わくわく子どもの学校」を開校してから15年目になります。そこで、今年度を創立15周年としていくつかの記念事業を行うことになりました（こどもの森通信30号のタイトルに載っている15周年記念のロゴマークは、今年3月に中学部を卒業した松尾千穂さんの作品です）。7月に15周年記念誌の発行を予定しています。

また、7月21日（土）には、会員の皆様をお招きして、「創立15周年を祝う会」を開催します。ふだん学園にお出かけになれない方も、この機会にお越しいただけると嬉しいです。（辻）

韓国ESD実践者との交流

国際連合大学日韓教員交流プログラムの一環で、韓国でESDの実践をされているユネスコスクールの先生や、韓国の教育委員会、ユネスコ協会のみなさん約20名の方が学校見学に来られました。

見学当日は、歓迎の準備をしてきてくれた「ようこそチーム」の子どもたちが、日本語と韓国語で自己紹介や、日本の遊びとしてお手玉の紹介をしました。

子どもたちの中には、お家でも一生懸命、韓国語の練習をした人もいたみたいで、その気持ちが伝わりとても喜んでいただけました。

その後、学校見学をしていただきました。今回の視察では、日本のオルタナティブスクールの訪問は初めてとのこともあって、

先生方はとても熱心で、たくさんのご質問をいただきました。

「子どもたちが主体的に学ぶことができ、あたたかい家庭的な雰囲気のあるとてもすてきな学校ですね」というような感想をたくさんいただきました。

ユネスコスクールに加盟していることで、こうして韓国の先生たちとも交流できて、とてもすてきな時間でした。（藤田）

ユネスコ気候変動プロジェクトで、国際ビデオ会議に参加

2018年3月 ユネスコより提案を受けて、本学園スタッフが気候変動プロジェクトについてのビデオ会議に参加しました。

これは気候変動をテーマに学校全体でESD（持続可能な開発のための教育）に取り組むユネスコの国際プロジェクトで、日本を含む25か国が参加し、日本からはこどもの森を含む10校が活動しています。

今回の会議は、デンマークのRoskilde Gymnasium 校、レバノンのDuetsche International Schule Beirut 校、パリのユネスコ本部、そしてこどもの森をむすんで行われ、3校が気候変動の学習プログラムについて発表し合いました。

その後の質問タイムでは、デンマークやレバノンの学校からこどもの森に、「地域コミュニティからどのようなサポートがあ

るのか」「子どもたちのモチベーションはどのように生まれるのか」「ワークショップはどのように行われたのか」などの質問があり、学園の取り組みについて関心を寄せていただきました。

その国や学校をとりまく環境は異なっている、子どもたちの様子や日々学校で工夫していることなど、国境を超えて共感できることが多くありました。

このような交流を通して想いを共有することで、大きな変化への一歩となることを実感する時間となりました。（高原）

親と子の土曜クラス『そら』新年度の説明会

「わたし」を育む、こどもの時間。「わたし」を大切に、おとなの時間。それぞれの「私」がある就学前の子どもと親のクラス“そら”の3年目がスタートします。

保護者の方からは、「大人もこどもも自分らしくいられる」「迷いながら日々子育てしている自分は一人ではない！と気付けた」「こどもが楽しみにしている」「夏まつりや、もちつきの行事も楽しい」の声をいただいています。

月2回の土曜日、親子で“ほのぼのゆったり自分らしく”の時間を過ごしませんか。

説明会の日時は、4月21日（土）9時から11時半 （西川）



～2018年度のスタッフ体制～

今年度は、右のスタッフ体制で、学習支援・事務・校務などを担当します。インターン生は随時募集していて、現段階で体験中の人もいます。少しずつ増えていくことになります。

それぞれの持ち味を生かして、市民による学校づくりを一步一步すすめていきたいと思います。今年度も、よろしくお願いします。（藤田）

職 名	名 前
学園長	辻 正矩
常勤スタッフ	藤田 美保（校長）、佐野 純、高原 麗奈、福田 麻衣、藤丸 浩志、守安 あゆみ
非常勤スタッフ	西川 友紀子、平嶋 好美、松崎 雅夫、芳仲 磨由美
学習サポーター	大橋 寛実
事務スタッフ	岡本 智子、中村 幸子、田中 直子
用務スタッフ	山崎 定樹
撮影スタッフ	茂木 一
インターン	中田 浩子、森 貞江、矢吹 卓也